

1972 菱野計画

愛知県住宅供給公社



目 次

- 1—11 計画の概要
12—19 施設の概要
20—30 生活・文化の概要

計画の概要

菱野団地開発目的

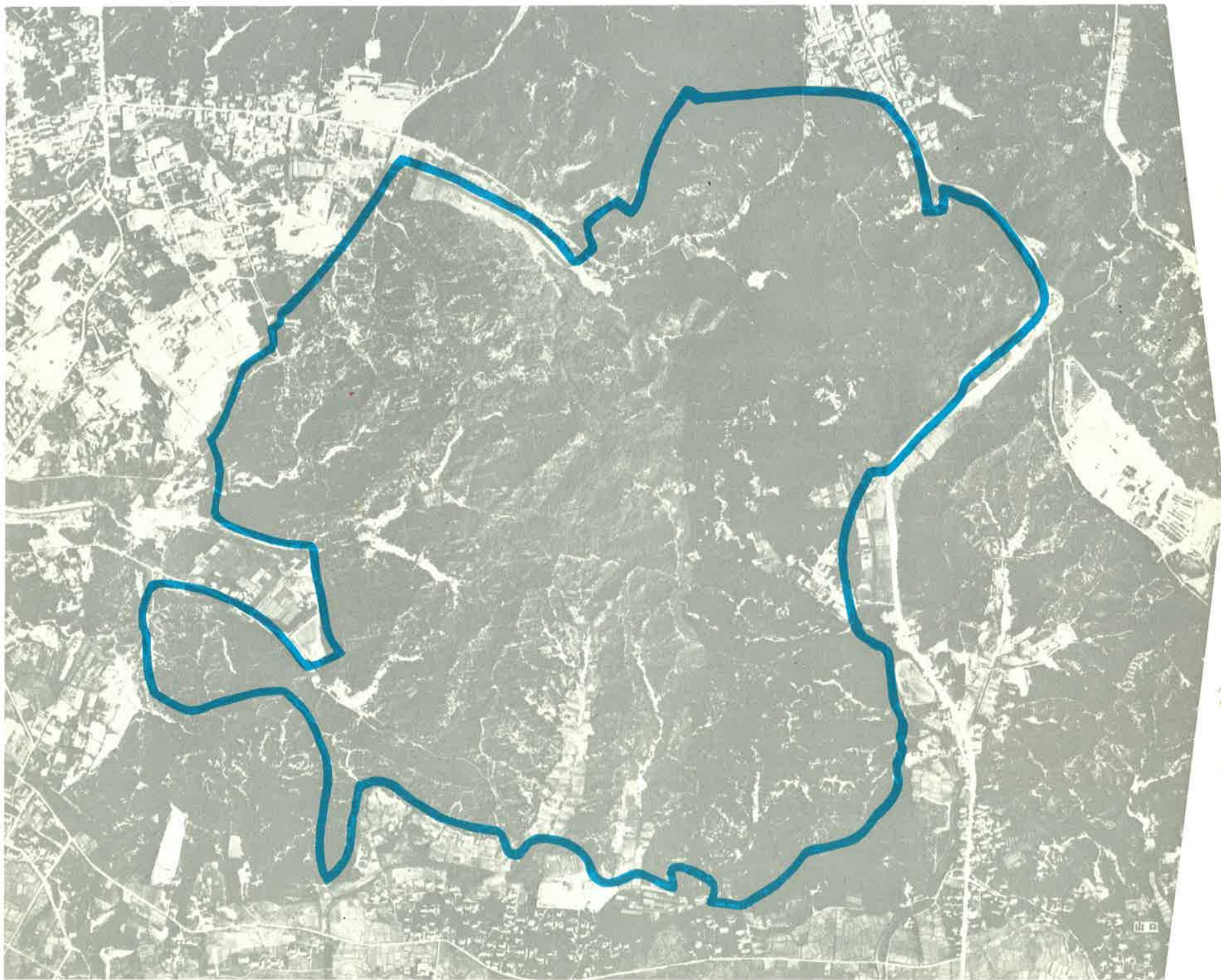
瀬戸市の南部、菱野・山口地区にある丘陵地は、

1. 本県の経済力伸展につれて人口集中の著しい名古屋市・春日井市・豊田市などへの通勤圏である。
2. 鉄道・道路網の整備されることによって、瀬戸市がその開発に大きな成果を期待している幡山地区の向背地にある。このすぐれた立地条件をそなえ、またその大半が県有地であることから、緑と太陽と空気の美しい街……

子供を守ることを充分に考慮した明るく、楽しい総合的なニュータウンを計画したのである。



開発前の菱野団地

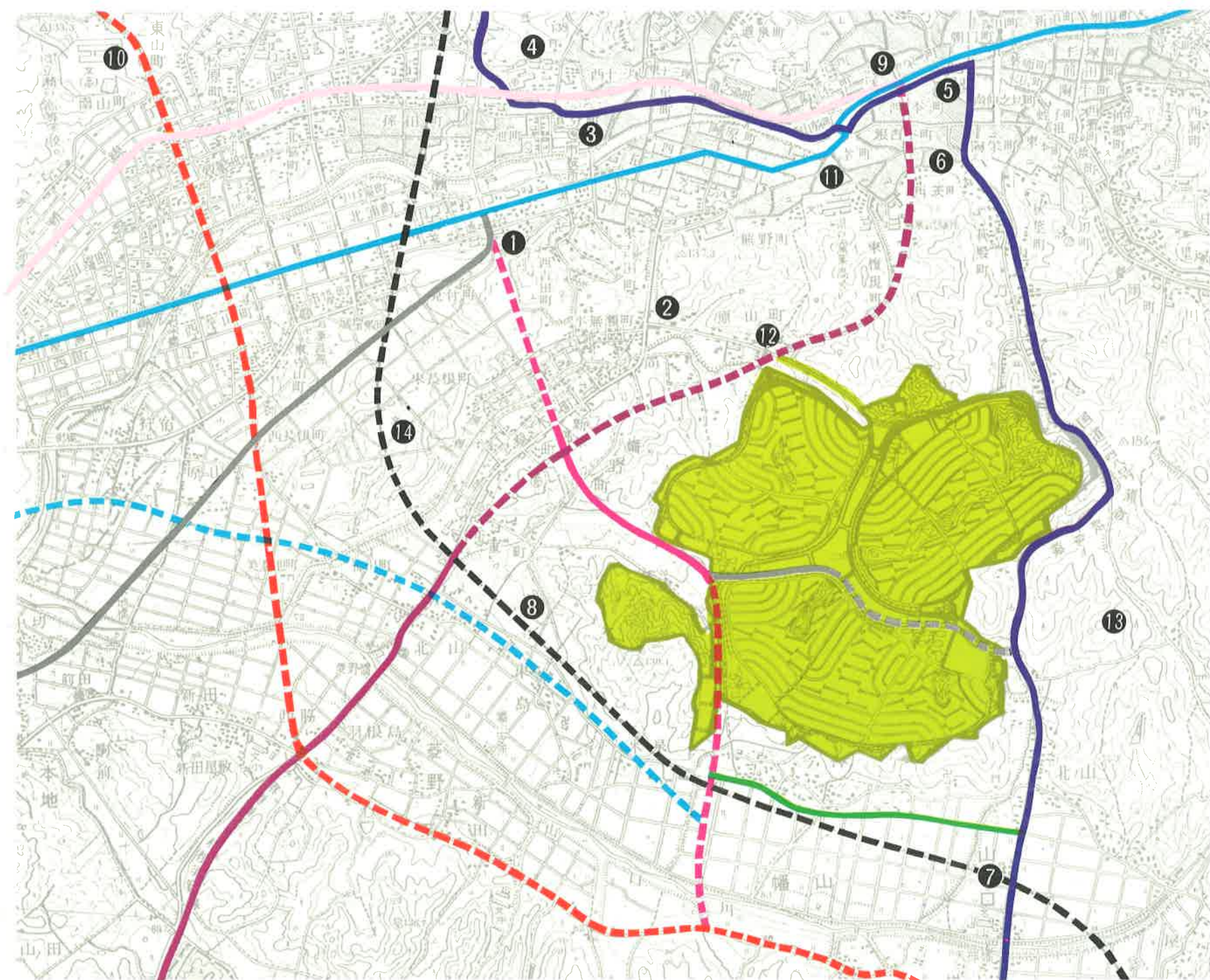


現在の菱野団地



昭和46年10月

交通機関と周辺公共施設



周辺公共施設

1. 保健所	1,800 m
2. 警察署	1,200 m
3. 市役所	1,900 m
4. 公立陶生病院	2,200 m
5. 市民会館・郵便局・消防本部	1,900 m
6. 電話局	1,600 m
7. 国鉄山口駅	1,300 m
8. 国鉄瀬戸駅	1,300 m
9. 名鉄瀬戸駅	1,800 m
10. 県立瀬戸高校	3,500 m
11. 県立瀬戸窯業高校	1,400 m
12. 市立水無瀬中学校	900 m
13. 私立聖霊学園	1,100 m
14. 私立聖カピタニオ学園	1,800 m

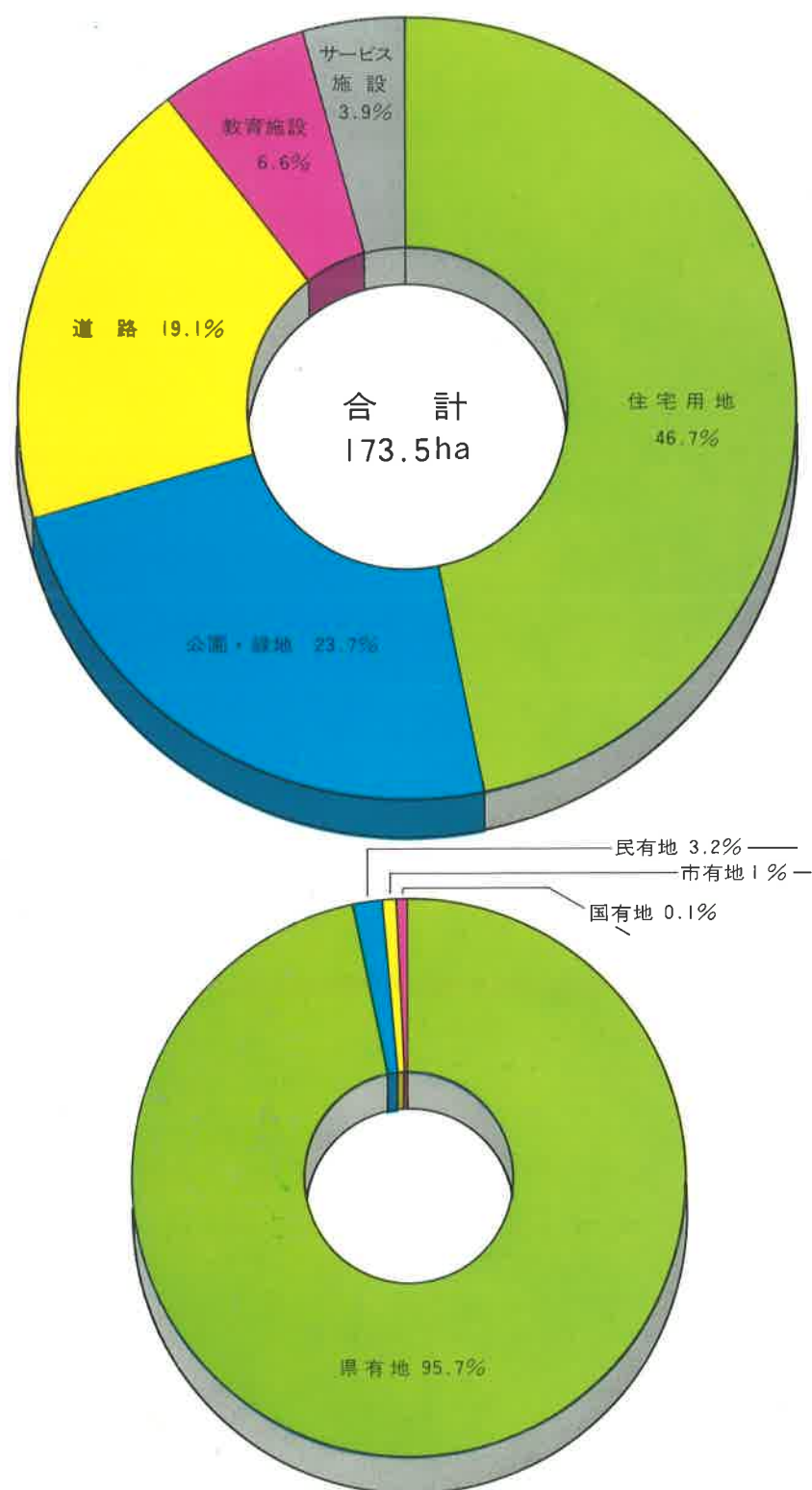
交通機関

■■■■■	国鉄岡多線
■■■■■	都市計画街路菱野線
■■■■■	都市計画街路八幡線
■■■■■	東山線
■■■■■	第三環状線
■■■■■	旭南線
■■■■■	山口線
■■■■■	国道 155号線
■■■■■	瀬戸線
■■■■■	瀬港線
■■■■■	名鉄瀬戸線

- 実線は現在通行
- 点線は将来完成予定



土地利用区分



計画概要

計画面積	173.5ha
住宅建設戸数	7,238戸
人口	30,000人
人口密度	170人/ha
開発年度	昭和41年度～昭和50年度

土地利用計画

全体を原山台・萩山台・八幡台の住区に分け、中心地区（サービス施設）公共施設を緑地ゾーンにより分離している。

各住区は自然の起伏を利用して計画し、住区内の各道路も原則として等高線沿いに走り、自然の地形を保存しながら変化のある景観が得られるよう計画され、住区内中央部に自然緑地を保存し、主幹線と住区内幹線との間のスペースは、修景緑地を配している。

教育施設は通学上の安全のため、主幹線をこえない住区周辺の緑地ゾーンに配置されている。

基本計画の主眼点

◆ 良い環境

◆ 交通安全

◆ 便利な生活

以上3つの観点から菱野団地は計画されている。

◆ 良い環境とは……

- 住宅の日照条件をよくする。
- 通過交通のない道路計画。
- 変化のある住宅配置と静かな空間の構成。
- 各住区の中央部にある自然を極力保存する。

◆ 交通安全とは……

順次道路の巾員をせばめながら、各戸に近づくにつれ、交通量を大巾に減少させる。交差点はすべて優先順位が明確にされたT差路として車のスムーズな流れをはかる。

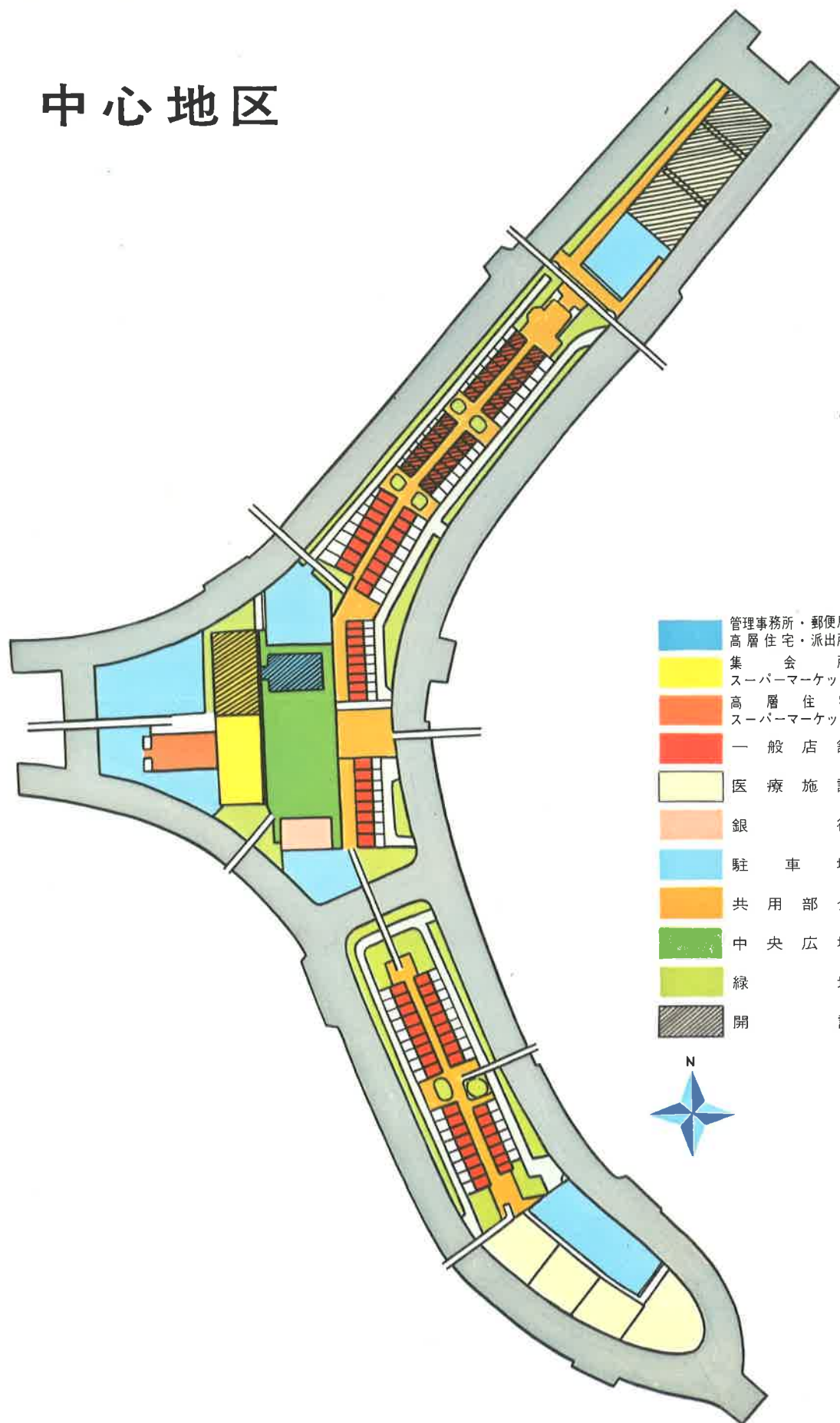
◆ 便利な生活とは……

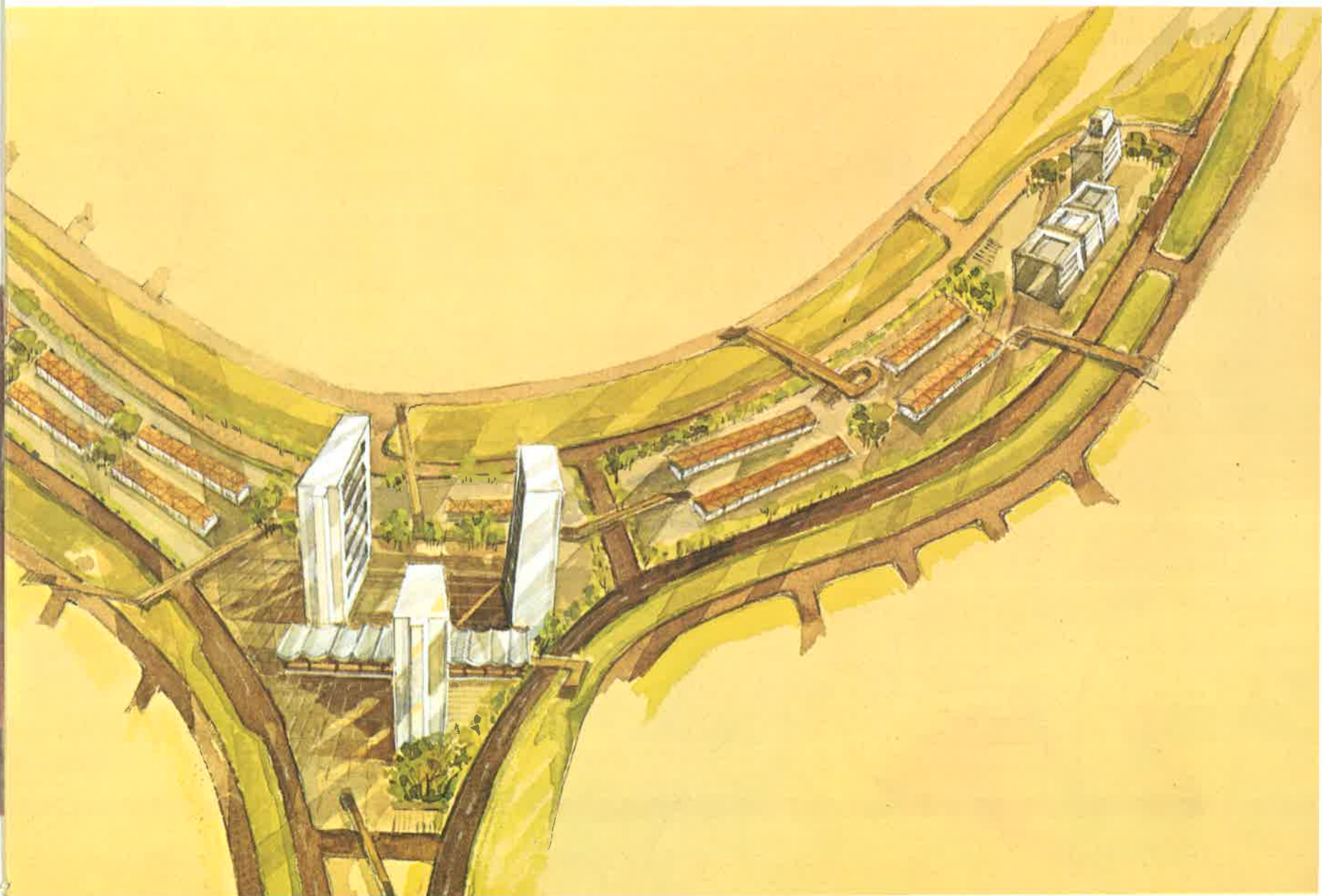
ワンセンター方式により、サービス施設の合理的な配置、危険な主幹線道路をこえない安全な教育施設の配置。

土地利用計画



中心地区





◆中心地区

- 線状の構成・・・・・・・・・・・・・・・・ 近隣住区別のセンター方式の良さ(各戸から至近距離)と、ワンセンター方式の良さ(集中による経営上の利点、利用者側の選択の自由、アーバンティ、都市らしさの構成)の両者を取り入れた線状のサービス施設を配置している。
- 利用頻度による施設の配置・・・ 中心地区の中央に団地全体として必要な管理センターを置き、三つのブランチに均等に日常必要な施設を配置して居住者の便をはかっている。
- 歩道橋・・・・・・・・・・・・・・・・ 各住区と中心地区とはスロープをもちいた歩道橋によって結ばれ、うば車を引いて買物ができるよう考慮している。

教育施設



教育施設

教育施設は中心地区に近く、住区と主幹線の間の公園内に配置して歩路および歩道と結び児童を車から守る。

また、住区の周辺に配置されているので、将来の教育システムの変化や学区編成の変動に充分適応できる。

教育施設は小学校を各住区に新設し、中学校は一校の新設と、既存の水無瀬中学校の増設により収容する。

幼稚園は全体のバランスを考え三園設け、保育園は萩山台と八幡台に一園ずつ設立する。



小学校



幼稚園



施設の概要

上水道

上水道は瀬戸市上水道とし、一旦団地受水池で
うけ、そこより三系統にて、それぞれ低区配
水池、中区配水池、高区配水高架水槽まで
圧送され、三配水池より自然流下による
給水とした。一日最大給水量は
13,000m³である。

原山台

市受水池大鼓峰約4 km

萩山台



受水池
ポンプ室

低区
配水池
中区配水池
高区配水高架水槽

- 低 区 配 水
- 中 区 配 水
- 高 区 配 水
- 中 心 地 区
- 低 層 住 宅 用 地
- 中 層 住 宅 用 地
- 保 存 緑 地 お よ び
周 辺 緑 地

八幡台

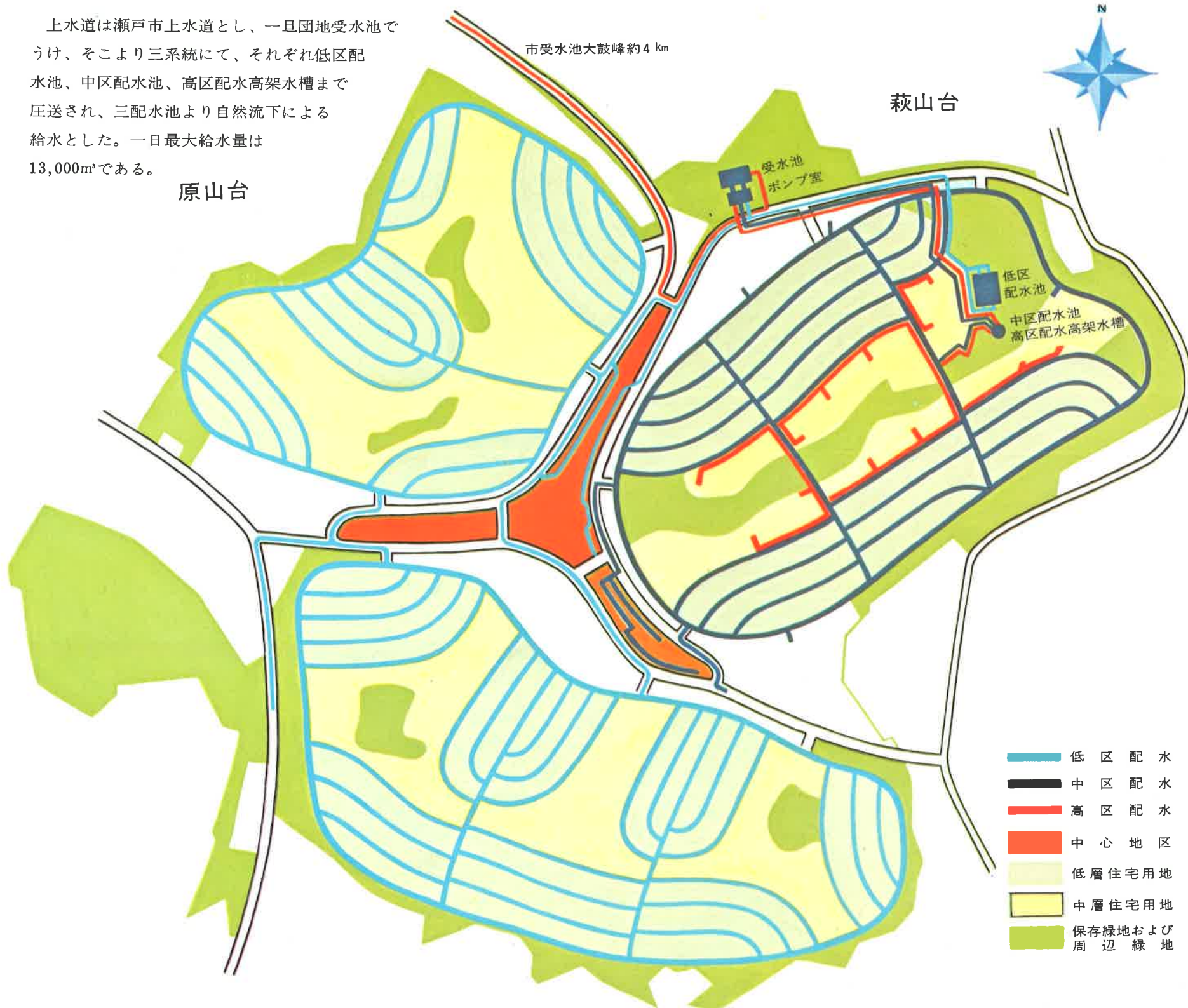
上水道

上水道は瀬戸市上水道とし、一旦団地受水池で
うけ、そこより三系統にて、それぞれ低区配
水池、中区配水池、高区配水高架水槽まで
圧送され、三配水池より自然流下による
給水とした。一日最大給水量は
13,000m³である。

原山台

市受水池大鼓峰約4 km

萩山台



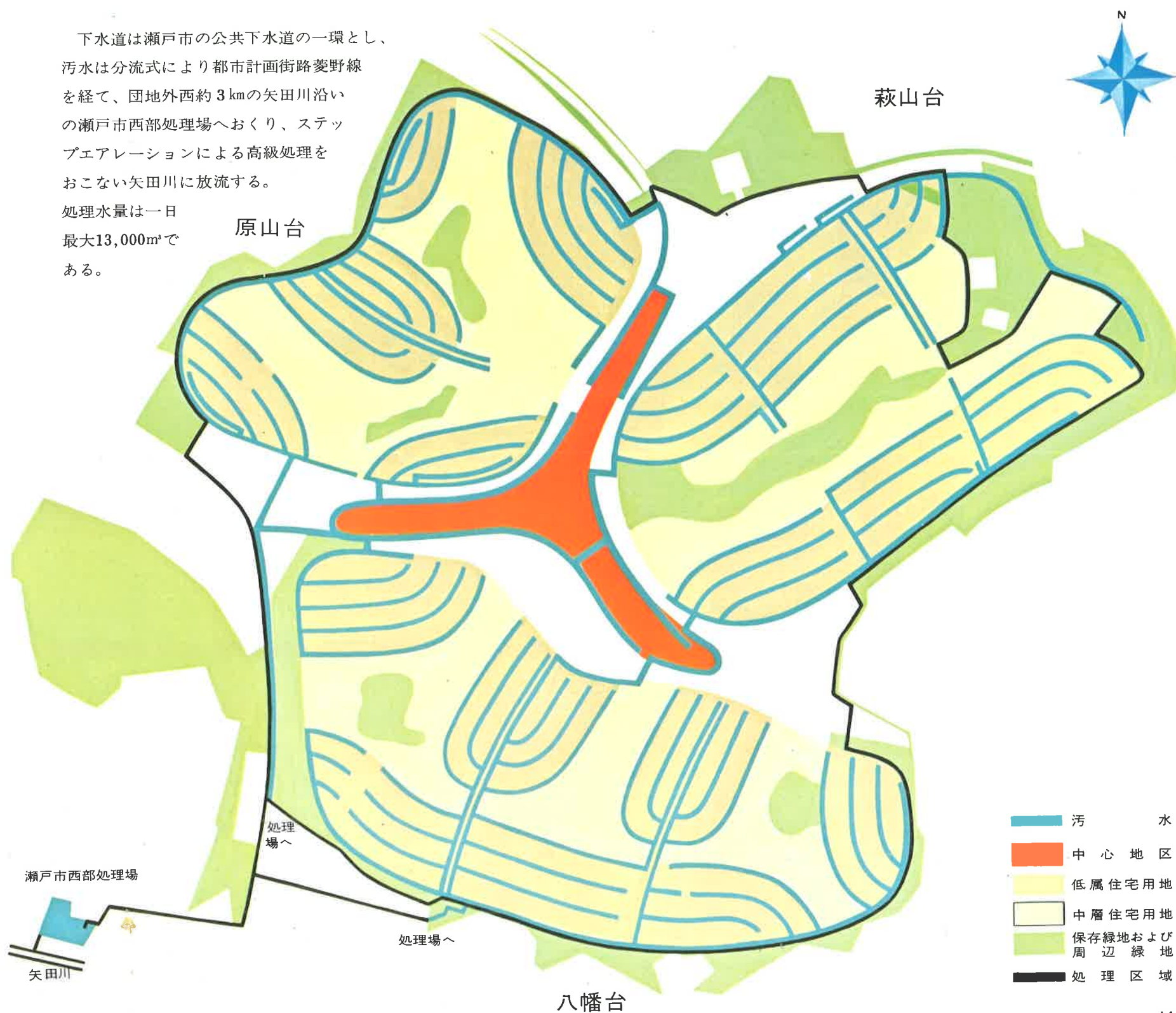
- 低区配水
- 中区配水
- 高区配水
- 中心地区
- 低層住宅用地
- 中層住宅用地
- 保存緑地および
周辺緑地

八幡台

汚 水

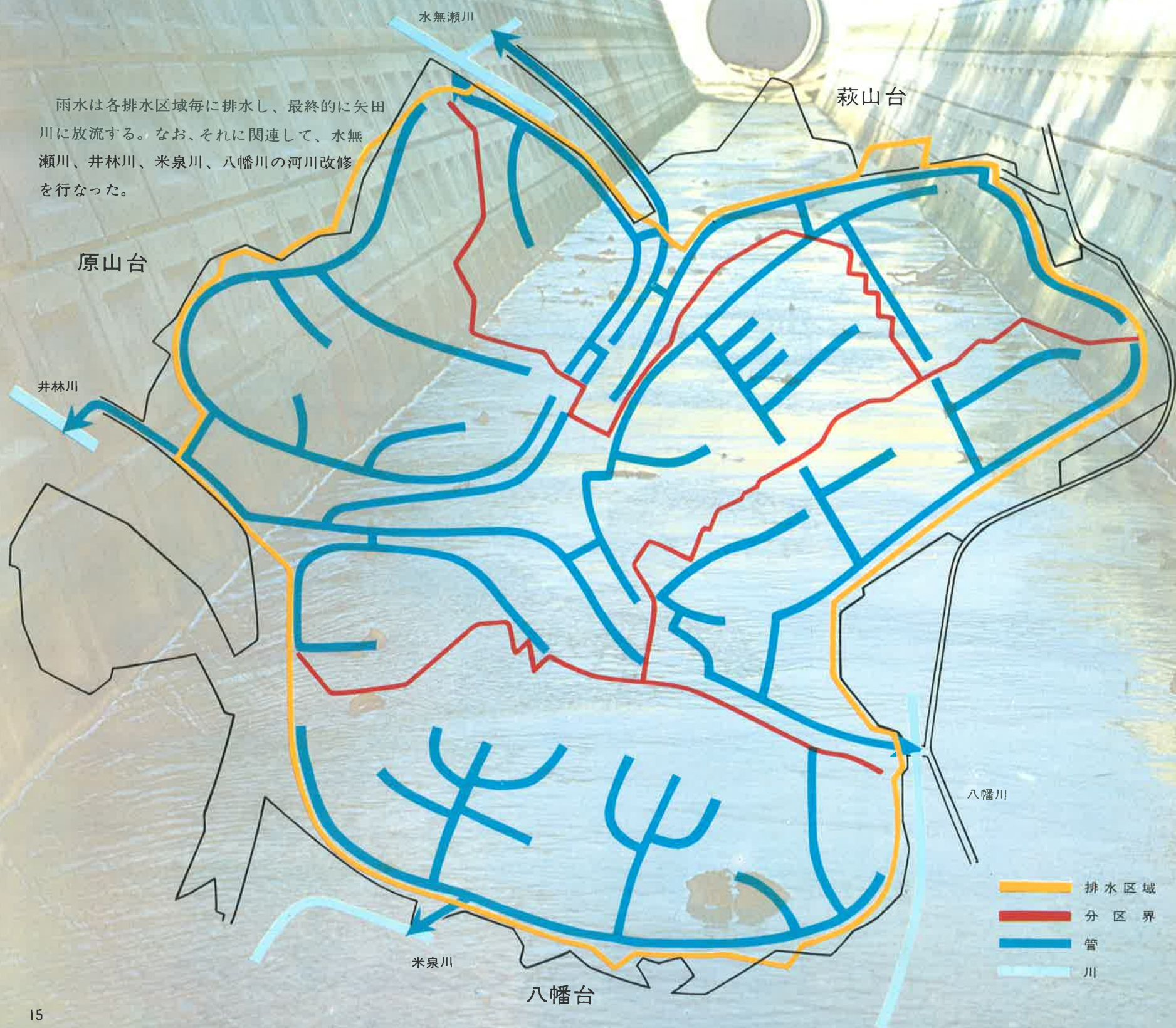
下水道は瀬戸市の公共下水道の一環とし、汚水は分流式により都市計画街路菱野線を経て、団地外西約3kmの矢田川沿いの瀬戸市西部処理場へおくり、ステップエアレーションによる高級処理をおこない矢田川に放流する。

処理水量は一日最大13,000m³である。



雨 水

雨水は各排水区域毎に排水し、最終的に矢田川に放流する。なお、それに関連して、水無瀬川、井林川、米泉川、八幡川の河川改修を行なった。



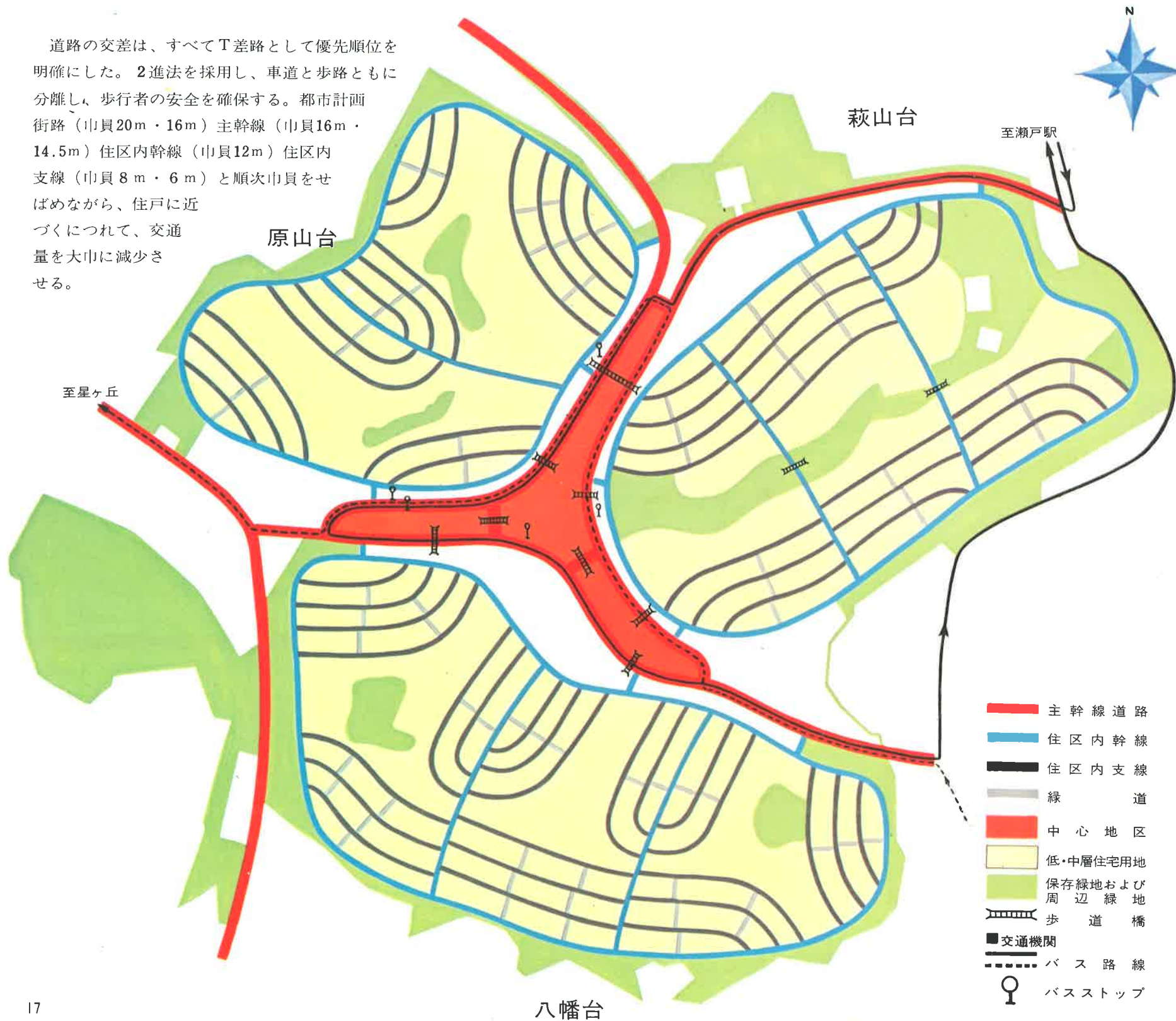
ガ ス

ガスは都市ガスにより、地区内にガバナ―を設けて供給する。



道路計画

道路の交差は、すべてT差路として優先順位を明確にした。2進法を採用し、車道と歩路ともに分離し、歩行者の安全を確保する。都市計画街路（巾員20m・16m）主幹線（巾員16m・14.5m）住区内幹線（巾員12m）住区内支線（巾員8m・6m）と順次巾員をせばめながら、住戸に近づくとつれて、交通量を大巾に減少させる。

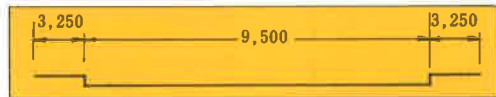
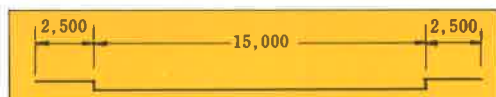


道路計画

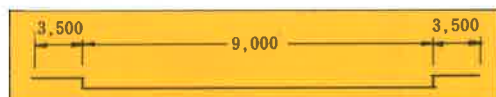


歩道橋

◆都市計画街路 (20m・16m)



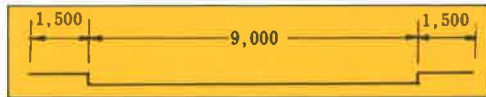
◆主幹線道路 (16m・14.5m)



◆緑道 (1.8m～3m)



◆住区内幹線 (12m)



◆住区内支線 (8m・6m)



遊歩道は公園をとりまきながら、住戸へのアプローチのための歩道とも連絡し、また保存緑地内を通っている緑道ともつながれて、いわば公園ネットワークのような歩行者のための空間（ペDESTリアン・スペース）を構成している。

このペDESTリアン・スペースは主幹線と立体交差し、うば車をひいて中心地区に到達できる安全な歩行を形成している。

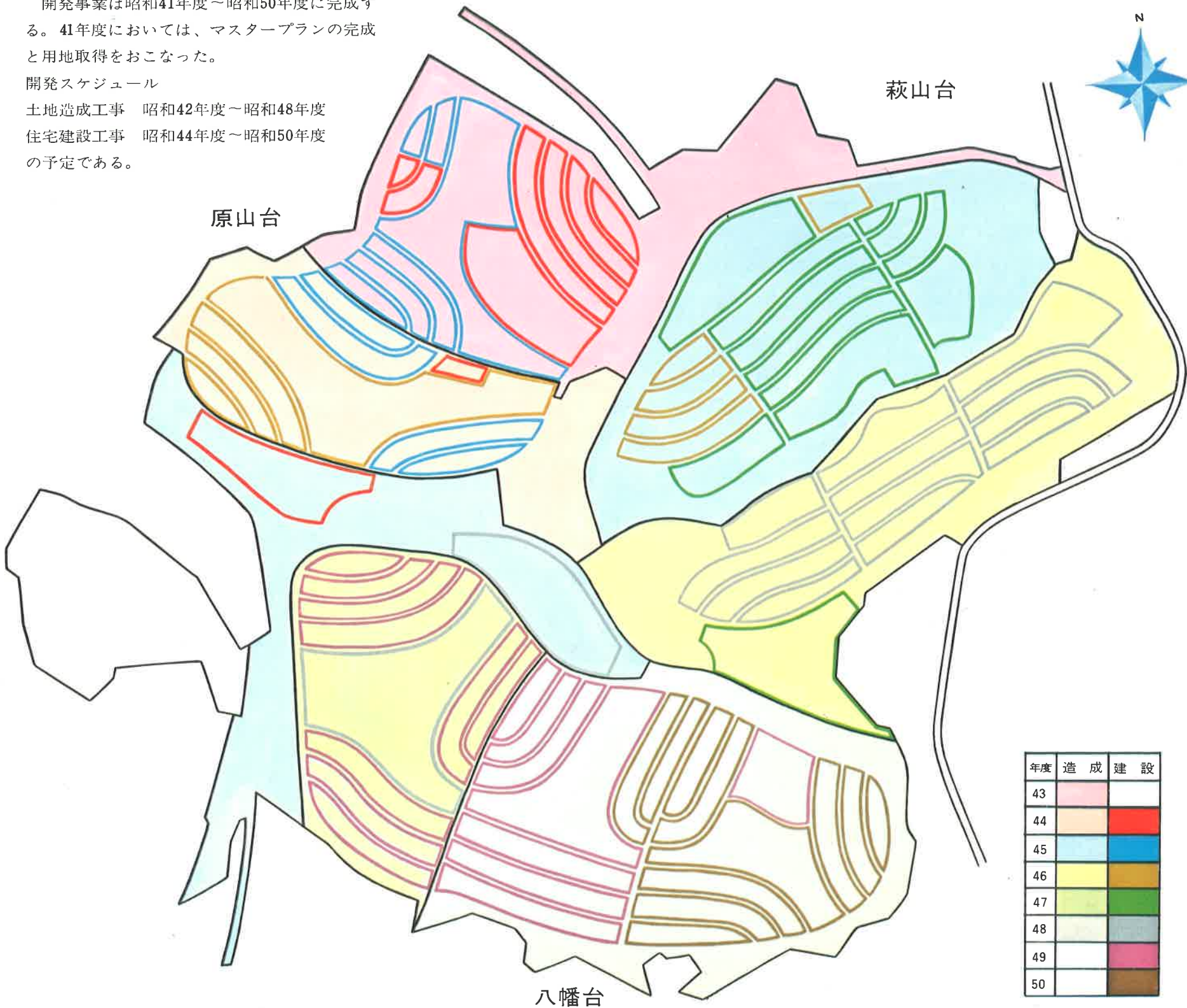
造成・建設計画

開発事業は昭和41年度～昭和50年度に完成する。41年度においては、マスタープランの完成と用地取得をおこなった。

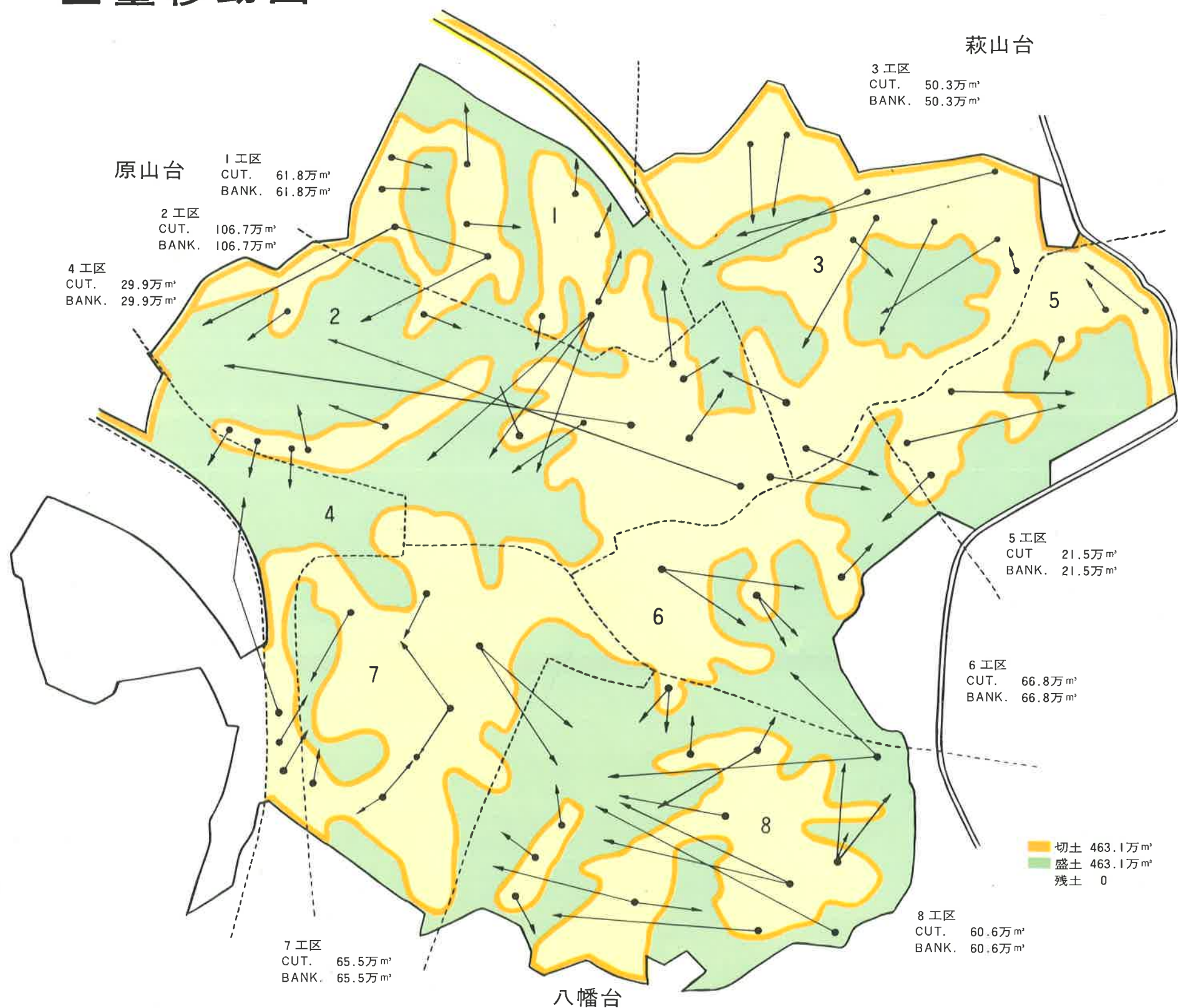
開発スケジュール

土地造成工事 昭和42年度～昭和48年度

住宅建設工事 昭和44年度～昭和50年度の予定である。



土量移動図



生活・文化の概要





住宅施設

菱野団地住宅建設計画

◆公社住宅

●分譲住宅

戸建住宅 1,777戸
 連続建住宅 432戸
 中層分譲 717戸
 店舗付住宅 77戸
 小計 3,003戸

●賃貸住宅

中層賃貸 150戸
 高層賃貸 108戸

小計 258戸
 計 3,261戸

◆県営住宅

中層賃貸 3,977戸

合計 7,238戸

分譲住宅

耐火構造の一戸建、二戸建、連続建住宅、不燃構造のプレハブ住宅、木質系プレハブ住宅および木造住宅と、それぞれの構造を生かしながら変化にとんだ配置を形成し、個々の住宅は住区内の諸施設を考慮にいれ、日常生活に便利のように心がけてある。住宅としての必要条件である、日照、彩光、通風を考慮した間取り等、建築性能を十分に考えて住み心地のよい住宅としたのである。



組立木造



耐火Ⅰ戸建

商業施設

菱野団地利便施設

◆ 一般分譲店舗 75店舗

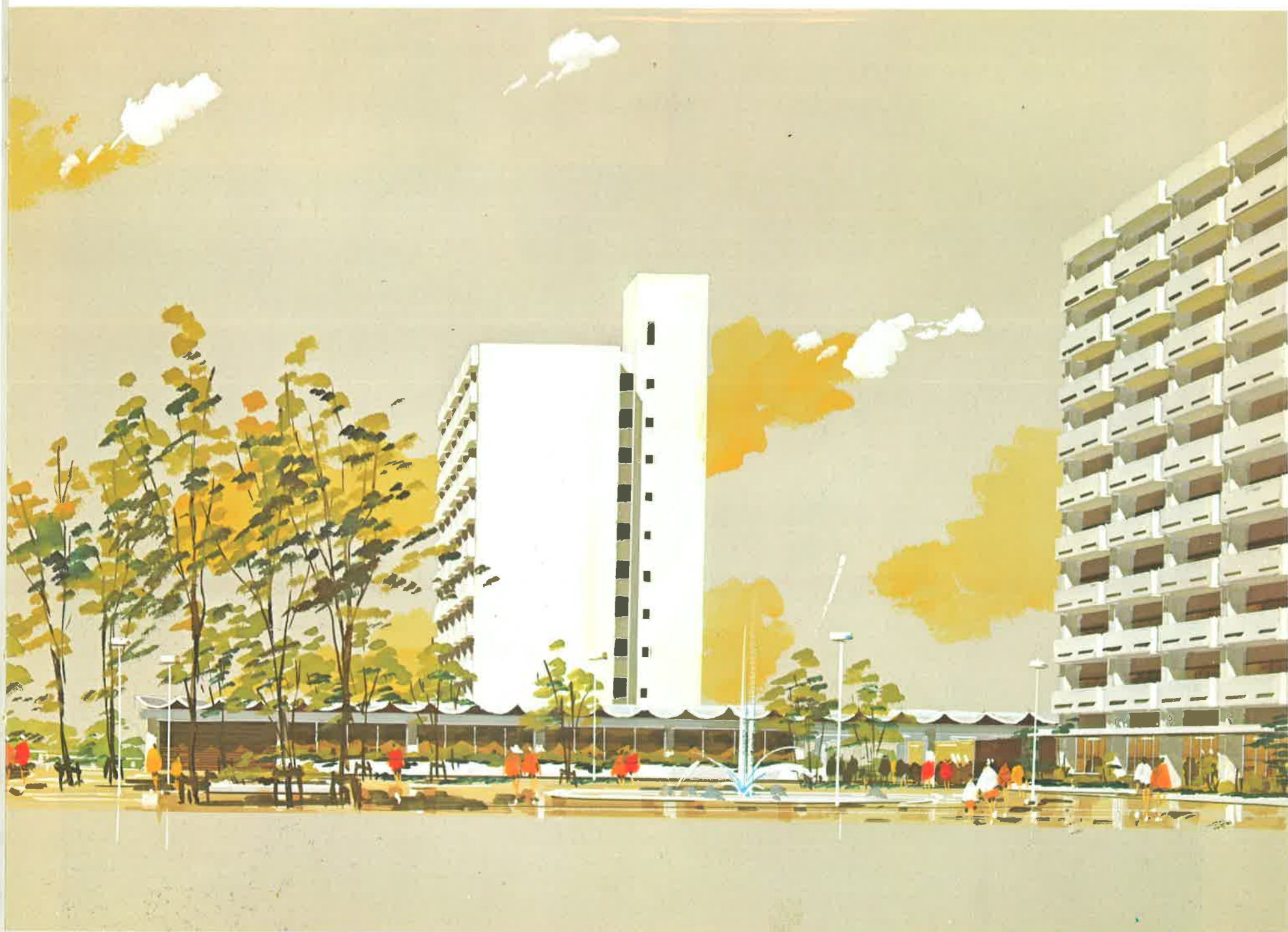
米穀店	3	文具店	1
菓子店	5	玩具店	2
鮮魚店	2	運動具店	1
精肉店	4	自転車・子供乗物店	1
かしわ・卵店	2	レジャー用品店	1
青果店	5	家庭電化店	2
乾物・惣菜店	5	楽器・レコード店	1
酒・調味料店	4	写真店	1
茶店	1	花屋	2
牛乳・パン店	2	時計・眼鏡店	1
衣料・雑貨店	1	理髪店	4
婦人・子供服店	1	美容院	4
アクセサリー店		クリーニング店	2
寝具店	1	飲食店	6
靴・かさ・鞆店	1	新聞店	3
日用品・雑貨店	2		
薬局	2		
化粧品店	1		
書籍店	1	合 計	75

◆ 特定宅地分譲

医療・施設	11
銀行	1
ガソリンスタンド	1

◆ 賃貸店舗

レストラン	1
スーパーマーケット	1
文化センター	1



医療施設

菱野団地の医療施設は一般開業医によってなり、ワンセンター方式の利点をとりいれ、中心地区にその診療所が開設されている。

現在、内小児科・産婦人科が開業しており、47年度には歯科が開設される予定である。この他、将来、内小児科(2)・歯科(2)・産婦人科(1)・眼科(1)・耳鼻科(1)・外科(1)等が団地建設と平行して、建設されていく予定である。



産婦人科・内科小児科

管理施設

管 理 施 設	菱野センタービル	菱野団地管理事務所
		小 集 会 室
		大 ホ ー ル
		展 示 室
公 益 施 設		郵 便 局
保 安 施 設		警 察 派 出 所



派出所



27 フラワー教室



事務所内部



郵便局内部

県営住宅



昭和46年度建設 原山台

◆建物の配置計画について

- ポイントハウスとフラットの組合せにより変化にとんだ空間をつくりだす。
- 従来の並列配置にかわってなかばクローズドした配置をとり、駐車場から切り離された安全でおちついた児童公園、幼児公園をとっている。
- 通風のよどみとなる隅部にポイントハウスを配置することによって、閉鎖的な配置計画にありがちな通風の悪さを防いでいる。
- ポイントハウスとフラットの組み合わせによって閉鎖的な配置にありがちな視線の遮断を防ぎ見透しのきく明るい中庭状の空間をとることができる。
- 地形に無理なく適合させ、かつ公園系統と建物の配置を有機的に統合させる。

◆建設計画について

項目 \ 年度	実績			計画		計
	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度	次年度以降	
戸数	3 6 3 戸	4 3 6 戸	8 6 0 戸	5 9 4 戸	1 , 7 2 4 戸	3 , 9 7 7 戸
敷地面積	30,034.74㎡	30,950.88㎡	53,940.93㎡	42,180㎡	111,720㎡	268,826.55㎡

中層住宅へのアプローチ

